



3
 2014

主題 (2013/2014)

国際会長 Go Ye Into All The World Extension Extension Extension
 「全ての世界に出て行こう」 「エクステンション、エクステンション、エクステンション」

アジア会長 Start Future Now One Asia One World
 「未来を始めよう、今すぐに」 「ひとつのアジア、世界はひとつ」

西日本区理事 Attend club meetings with a clear motive to make the most of them
 「志をもって例会に参加し、学びの機会を持ちましょう。」

中西部長 「ワイズの価値を見直そう」

大阪クラブ会長 「85年を振り返って更なるYのサポートを」

会長	石橋ルキ
直前会長	北村知三
副会長	五条孝次郎
	脇本博
	豊島正利
	清水汎
書記	清牟大盛
会計	村井達司
プリン	松原伸幸
連絡主事	藤岡宏樹

【今月の聖句】

「何事も利己心や虚栄心からするのではなく、へりくだって、互いに相手を自分より優れたものと考え、めいめい自分のことだけでなく他人のことにも注意を払いなさい。」 フィリピの信徒への手紙 5章3～4節

【3月例会プログラム】(EF・JWF 強調月間)

とき：2014年3月11日(火) 18:15～20:15

ところ：大阪土佐堀YMCA 9階

司会 脇本 博
 石橋 ルキ会長

1. 開会の鐘
2. クラブソング
3. ゲスト・メネット紹介
4. 会長報告
5. 「日々の糧」斉唱・晩餐
6. スピーチ 正野忠之さん

(Yサ・ユース事業主任・大阪河内クラブ)

テーマ：「ユース支援に思いを寄せて」

7. 誕生日・結婚記念日のお祝い・ニコニコ
8. インフォメーション
9. YMCAニュース
10. 閉会の鐘

石橋 ルキ会長

受付：藤岡・豊島・脇本メネット



於：2月例会

【第2例会のご案内】

とき：2014年3月18日(火) 19:00～21:00

ところ：大阪土佐堀YMCA 5階 504号室(変更になることがありますので、ご注意ください。)

今月の誕生日：條イサヨ（15）松原伸幸（15）村井達司（26）
 メネットさんお誕生日：該当者なし
 ご結婚記念日：宇野義男（21）森嶋弘明（21）五条孝次郎（24）

【聖句に寄せて】

石橋 ルキ

梅の花がほころび、日増しに春の訪れが感じられるこのごろです。
 お互いに他人を尊敬し、むしろ他人から学ぶように心がけましょう。真の謙遜は、自分のいたらなさを知ったものの自然な姿です。他人への尊敬こそ真の愛の姿なのです。

【スピーカー紹介】

正野忠之メン 1958年5月3日生

西日本区YMCAサービス・ユース事業主任、大阪河内クラブ副会長、ソニー生命社員

【2月例会出席状況】

1月出席状況		在籍	例会出席	アメ ツイ ブク	メ ネ ット	ゲ ス ト	ビ ジ ター	出席率	二献 コ金 ニ コ
	正会員	15	9		1	1	4	60.0%	25,100円
	功労広義会員	2							
	合計	17	9		1	1	4		

2月例会の出席者

メネット：脇本真知子メネット

ビジター：講師 加藤寅尾メン（茨木クラブ）、大村肇メン（センテニアルクラブ）、
 奥田時夫メン（大阪土佐堀クラブ）、今井利子メン（なかのしまクラブ）

ゲスト：三宅玲子（大阪YMCAスタッフ）

【CSよりお願い】

1月19日（日）年賀ハガキの当選番号の発表があり、4等（お年玉切手シート）は下2桁（72）（74）が当選番号となりました。

当選された方は郵便局で切手に換えて、封筒に入れ、枚数と名前を書いて3月例会にお持ち寄り下さい。なお、近年当選数が少ないので、募金を同封して提出して頂ければ幸いです。

【BF&CS報告】

牟書記より

- 清水汎メンから お年玉切手 7枚

リースとコイン : ¥242

古切手 100g

- 大阪クラブの古切手 3KGを、2014年2月17日に(有)フクオに送付完了しました。

村井会計より

(1) 2月例会提供分

新切手 年賀シート 13枚 ✕ 130円 = 1,690円

現金 3,000円

(2) 2/13以前の預かっている切手とリースコインは、下記の通りです。

H25・7・1 新切手 ¥6,800-

H25・7・9 新切手 ¥1,600-

H25・8・13 新切手 ¥1,600-

H25・10・9 新切手 ¥1,600- 以上4件 合計 ¥11,600-

H25・9・10 リースコイン ¥71-

H25・10・8 リースコイン ¥109- 以上2件 ¥180-

【クラブ役員会報告】報告者：書記 牟 大盛

日時：2014年2月20日(木) 18:30~19:00

場所：土佐堀Y M C A 5F ギャラリー

出席者：石橋会長・清水汎次期部長、脇本博・北村知三・條イサヨ・牟大盛メン、藤岡宏樹連絡主事、脇本真知子メネット会長

協議事項

1) 今後の例会スピーカー

3月11日： 正野忠之氏 (Yサ・ユース事業主任・大阪河内クラブ)

題目「ユース支援に思いを寄せて」

準備：プロジェクター・スクリーン・謝礼：1万円

2) 4月8日：岡野泰和アジア会長

題目「未来をはじめよう！チェンジ・エージェント支援について」

内容 (Y M C A 世界同盟が目指す、ユースエンパワーメントとワイズの協働)

準備：プロジェクター・スクリーン、謝礼：1万円

5月特別例会の件：原則として外部講師無く、クラブ会員相互の意見交換会とする。

場所は：「錦城閣」とする。

3) 会員動向・E M Cの件

(ア) 京都クラブ・神戸クラブとのトリプルD B C締結の件：

3クラブのD B C締結の協議を継続して進める。

(イ) 12月末で、総会員数17名となり、継続してE M Cに努力する。

例えば：公認会計士・税理士、司法書士・議員などの資格者を会員として迎えるなど、広範囲な会員勧誘に努める。

(ウ) 窪田正道広義会員住所の変更：〒大阪府摂津市千里丘6-5-5-403号

電話・FAX (06) 6155-8795、携帯：090-7487-2654

(エ) その他：清水汎メンから中西部動向について説明があった。

4) 次期中西部キャビネット報告 (清水汎次期部長)

(ア) 主査候補者の確定の件：次期中西部キャビネット確定。

(イ) 中西部計画・方針の件：

：2014年9月20日、大阪天満橋 「錦城閣」で、15:00-18:00、

スピーカー候補「元淀川キリスト教病院長 柏木哲夫」氏に決定（清水次期部長）

：今後の広報について

(ウ)区 次期主査・会長研修会：3月8 - 9日(チサン新大阪ホテル)

次期キャビネット（部長・会計・書記）も参加

5) 他クラブ行事関係：4月5日(土)京都キャピタルクラブ30周年記念例会

：清水汎メンが参加する。(ウエステイン都ホテル京都：17：00～)

7月6日(日)和歌山紀ノ川クラブ30周年記念例会

：清水汎メンが参加する。(ホテルグランヴィア和歌山、11：30～)

【2月例会報告】

脇本 博

第2火曜日が建国記念日で祭日だったため、翌12日水曜日に開催されました。皆様お仕事の関係もあり出席者は少なかったです。こう言う私も仕事の関係で遅刻し、会長報告の最中に入室しました。今年の国際HHキャンプは香港で開催予定。6月14日 15日に岩国で開催予定の西日本区大会には大阪クラブからできるだけ多くの方に参加してほしい。また、なかのしまクラブのオープン例会の紹介がありました。

今月の講演は茨木クラブの加藤寅尾メンによる『明治日本の安全保障』というテーマでした。安全保障という言葉は日米安全保障条約が締結されてから使われるようになりました。戦前は国防という言葉が使われていました。国民の生命と財産を守るのが国家の義務です。歴史上国を失った亡国の民が何代にもわたってどれだけ艱難辛苦に満ちた人生を送らざるを得なかったか例を挙げて説明され国防の重要性を強調されました。日本に亡国の危機は数多くありました。日本の古代の白村江の戦いから元寇、攘夷の戦い(生麦事件が発端となった薩英戦争、長州と西欧列強4か国との戦い)、戊申戦争です。その後の明治の建軍、西南戦争など大変内容の濃いお話が続きました。

戦国時代を経て織豊時代となり、さらに徳川幕府によって鎖国政策がとられました。世界史的には大航海時代の真ただ中です。スペイン、ポルトガルによる植民地争奪戦の最前線に日本は地理上位置していました。鎖国ができたのは、それだけ日本が軍備を備えていたからです。当時日本の火縄銃はヨーロッパ全土の火縄銃の数を凌駕していました。日本とはとても戦えないと相手が判断したからこそ、鎖国できたのです。次に戊申戦争では、幕府側にフランス、薩長土肥にはイギリスが加担しました。しかし、討幕派も佐幕派も外国の力は借りず、国内だけで勝敗を決しました。外国の力を借りていれば日本の植民地化は避けられない事態だったかもしれません。大政奉還、明治維新となり、版籍奉還によって各藩が人員、軍艦を明治政府に供出し陸海軍が誕生しました。天皇を守る近衛兵400名が陸軍の出発点でした。その後徴兵令が布かれそれに反対する農民の一揆が頻発しました。また当時39万人いた武士階級のなかでも職を失った不平士族による蜂起によって西南戦争が勃発しました。平民からなる兵士達の政府軍が勝利しました。警視庁の抜刀隊が大活躍しました。その後各藩から献上された6隻の軍艦が天保山に集結し、初の観艦式が行われました。

ドイツワイマール共和国のゼークト元帥は『自然は真空を好まない。』と結論付けました。

戦後の日本は日米安保条約により、真空が充填され安全(国防)が確保されている。

日本国憲法前文に『……平和を愛する諸国民の公正と信義……。』とあるが果たしてそうだろうか？

『国防の大切さと亡国の悲哀を忘れないこと』という言葉で、講演を結ばれました。

加藤メンには50分という限られた時間に、内容の濃いお話を纏めていただいて申し訳なかったと思います。時間の関係で日清、日露戦役は割愛されました。戦後70年、平和を謳歌し、かつてイザヤベンダサン(山本七平)が言ったように安全と水はただと思っている日本人特に私のような戦後世代には大変勉強になりました。時間の制約もあり安全保障概論のその概論という印象は否めません。昭和20年春に海軍兵学校を卒業され、7月に少尉に任官(ポツダム少尉ではありません)、帝国海軍の最後の将校で愛国憂国の情あふれる加藤メンのお話を拝

聴し、大変感銘を受けました。機会があればもっとお話しを伺いたいたいと思いました。

土佐堀クラブの奥田メン、センテニアルクラブの大村メンがクリスマス献金のアピールをされました。また、3月15日センテニアル寄席で桂吉弥師匠の落語会のアピールもありました。内容の充実した例会でした。

【Y M C Aチャリティーボウリングに参加して】

牟 大盛

2月22日桜橋ボウルで、土佐堀Y M C A主催チャリティーボウリングが、10組40名の参加をもって開催されました。このチャリティーは、土佐堀Y M C Aのクリスマス献金事業の一環として、行われて参り、大阪クラブからは、支援金とともにH Hリーダー会の3人と小生の1組の参加となりました。大阪クラブからはチャリティー献金をいただきました。

小生は、かれこれ7 8年ぶりにボウリングをしました。H Hリーダー会からは、西村会長、勝矢さん、小山さんが参加されました。

一人、2ゲームずつ競技をして、4人の合計スコアで順位を決めるルールで、なんとハンデキャップは一切無しとのことで、大変厳しい内容でした。全チーム男女混合で、一斉にゲーム開始です。

4人が1ゲームを終わった段階で、横並びで2ゲーム目の開始です。ほとんど同時に終わり、集合して大村肇準備委員長の挨拶と進行で成績の発表です。

上位の3チームは合計スコアが1000点台をオーバーする優秀な成績でした。我が、大阪チームはなんとか900点目前というところでした。数ある、賞のうち「スマイル賞」を頂きました。

実は、小生は前職で良くボウリング大会に参加し、賞品を頂いた記憶があり、頑張りましたが、体と思いは一致せず、如何ともしがたい思いでした。

いずれにせよ、体を動かし心地より汗を流すことができ、感謝の思いでいっぱいでした。

これを以って、土佐堀Y M C Aのクリスマス献金事業は終了との事でした。

【2014年第1回聴覚障がい青少年支援基金拡大委員会議事録】

藤岡宏樹

日 時：2014年2月20日(木)午後7時~午後8時30分

場 所：大阪Y M C A会館 5階 ライブラリー

出席者：(大阪クラブ)石橋会長・北村・條・脇本・牟メン・脇本メネット

藤岡連絡主事(基金運営副委員長 司会進行)

(H Hリーダー会・通訳士)西村会長・万並(通訳士)・高土・櫻木・小山さん

協議事項：

司会進行：藤岡連絡主事

1. 2014年度国際H Hキャンプ概要について

- ・別紙資料に基づき藤岡より説明があり、今回のH H国際キャンプの趣旨に賛同し参加する件について全員が賛同し、協力することが確認された。今後は、募集について協議進めていくことを確認した。
- ・また、前回と同様に、六甲での1泊事前研修を実施することも確認した。

<キャンプ概要>

依頼主 香港中華Y M C A

- 目的**
- ・共同生活、仕事の体験に通じて、国際共有と理解を促進する。
 - ・聴覚障がい若者に文化交流、親睦とネットワーキングの機会を提供する。
 - ・自尊心、自信と自立の開発の機会を提供する。

案件 2014年国際聴覚障がい者キャンプ募集

対象 聴覚障がい者16歳~35歳

期間 2014年8月3日(日)~8月8日(金)<5泊6日>

参加費 一人400USドル（*現地宿泊費用 航空運賃他諸費用については別途）

応募締切 2014年5月31日（日本国内の応募締切は別途定まる）

2. 応募方針について

2013年度からの課題を受け、募集について意見交換がなされ、「募集広報の強化、支援団体の拡充、指定献金の強化」を目標に掲げ、以下の通り確認された。

- ・ポスターを作成し、学校ほか協力団体に配布し貼っていただく。A4を中心にカラーで作成し視覚でも訴えられるようなものをリーダー会が案を作る。
- ・募集要項は、詳細についてリーダー会が案を作る。
- ・メンバー募集は、支援校のほか、聴覚障がい児親の会、社会協議会、長居スポーツセンター、聴覚障がい児プログラム研究会マイマイ、聴覚障がい児アモール学習室など、近畿圏の協力団体に依頼する。他には、一般校に在籍する聴覚障がい児にも伝えられるように、養護教諭の会などに依頼をする。
- ・また、3/21（金）に実施されるフリーマーケットでも広報を打てるようにする。
- ・支援金については、引き続きオリーブ基金を推進すると共に、HHキャンプ指定献金を募る手立てを準備する。

3. 今後の取り組みについて

リーダー会の進め方などについて、以下の通り意見交換をおこなった。

- ・リーダー会は、次年度も今年度と同様に大阪YMCAネット会員として登録し、Yボランティアスクエアの一つとして活動する。
- ・新しいリーダーの発掘に向けて、これまで参加していただいたメンバーにリーダーとしての活動にも参加してもらえよう依頼をする。
- ・リーダー会は、HH基金運営拡大委員会と同時に開催すると共に、詳細が確定するまでは、状況に応じて別途こまめに実施する。

次回は、3/6（木）19時より、5階ライブラリーにて実施することを確認し、散会した。

【YMCAニュース】

第251回大阪YMCA早天祈祷会

日時...2014年3月14日（金） 7:30～8:30

場所...大阪YMCA会館 10階 チャペル

証し...牟 大盛さん（大阪ワイズメンズクラブ書記・関西韓国YMCA理事）

2014年度予定

- ・大阪YMCA創立記念礼拝：6月7日（土）
- ・チャリティーラン：10月13日（祝）
- ・世界YMYW合同祈祷週：11月（大阪YMCA担当）
- ・大阪YMCA大会：11月29日（土）

大阪YMCA英語幼稚園 土佐堀園開園

昨年の天王寺園に続き、土佐堀園が開園します。（2014年4月5日（土）入園式）

2歳児の園児が13名入園してまいります。（定員15名）

天王寺園は、現在の2歳児が3歳児に上がりますので、3歳児13名、2歳児9名が在園することになります。（2014年2月末現在）

こどもたちの明るい春に温かな笑顔をお送りください。

クリスマス献金報告

みなさまのご協力で目標の240万円を越えました！

2 / 15 現在 2,459,048円です。第一例会でみなさまからいただいたものと2 / 22 にチャリティボウリングを行いましたので、250万円は越える予定です。ありがとうございます！

【今後の行事予定】

今後の行事は、次のとおりです。積極的な参加をお願いします。

1. 京都キャピタルクラブ30周年記念例会・・・4月5日(土)
2. 第17回西日本区大会・・・6月14日(土)～15日(日) 於：シンフォニアいわくに
3. 和歌山紀の川クラブ30周年記念例会・・・7月6日(日)

参加希望者は、牟 大盛書記宛(090-8195-0914 fax 06-7397-3337)ご連絡ください。

【CSより】

献品は下記住所をお願いします。

「釜ヶ崎いこいの家」 〒557-0004 大阪市西成区菟之茶屋2-5-23 : (06)6631-2169

【編集後記】

立春、雨水が過ぎ、啓蟄のころとなりました。春を感じる余裕はなく、杉花粉の飛散に脅え、中国からのPM2.5の飛散に不安な日々を過ごしています。3月は、桃の節句であり、雛祭りです。季節の変わり目に悪気を祓うための行事が、女の子の人形遊びと溶け合って、人形を作り、遊び・楽しむ行事に変化したとされています。きらびやかな衣装をまとった雛人形を見るたびに、癒され、晴れやかな気分になります。(編集委員：松原伸幸)